

乙 第 号

松村 憲晃 学位請求論文

審 査 要 旨

奈 良 県 立 医 科 大 学

論文審査の要旨及び担当者

	委員長	教授	川口 昌彦
論文審査担当者	委員	教授	朴木 寛弥
	委員(指導教員)	教授	田中 康仁

主論文

Comparison of patient satisfaction between brachial plexus block (axillary approach) and general anesthesia for surgical treatment of distal radius fractures: a historical cohort study.

橈骨遠位端骨折の外科的治療に対する、腕神経叢ブロック（腋窩アプローチ）と全身麻酔との間の患者満足度の比較

Noriaki Matsumura, Satoki Inoue, Hidenobu Iwagami,

Yumiko Kondo, Kazuya Inoue, Yasuhito Tanaka,

Akihiro Okuda

Open Journal of Anesthesiology

(Vol.10 No.12 2020, 422-434)

Published: December 10, 2020 (Epub ahead of print)

論文審査の要旨

本研究は、橈骨遠位端骨折の手術加療において、麻酔法により患者満足度および患者転帰に影響を与えるかを検討した。対象は、橈骨遠位端骨折の手術を施行した 80 例であり、麻酔方法の内訳は全身麻酔 34 例、伝達麻酔 46 例であった。伝達麻酔は腋窩アプローチによる腕神経叢ブロックを施行した。診療録よりデータの抽出した後ろ向き研究のため、プロペンシティブスコアマッチングを用いて解析を行った。

結果、両群とも患者満足度が高く、手術時間や入院期間は伝達麻酔で有意に短かったが、麻酔方法による満足度の違いは認められなかった。また、術後の鎮痛剤の使用量が伝達麻酔で有意に多く、伝達麻酔ではリバウンドペインが大きな問題になる可能性があることが示された。手関節手術における伝達麻酔の有用性と問題点を示した重要な研究結果である。

公聴会では、術後の機能的予後改善機序、リバウンドペインに対する対処法、腋窩アプローチにおける注意点、2 群への振り分けにおけるバイアスの関与、満足度の評価方法、不満足に関連因子などの質問に対し、適切に回答を行っていた。

以上より、本研究は橈骨遠位端骨折に対する伝達麻酔（腋窩アプローチ）の有用性を示す重要な研究であり、本領域の更なる発展に寄与するものと評価される。主論文の内容と公聴会での発表、および参考論文と合わせて、医学博士の学位に十分値する研究であると認められた。

参 考 論 文

1. 前足根管症候群の 2 例

松村 憲晃(奈良県立医科大学 整形外科), 谷口 晃, 田中 康仁, 高倉 義典,

中部日本整形外科災害外科学会雑誌 (0008-9443)43 巻 3 号 Page625-626(2000.05)

2. 矯正骨切り術を施行した左小指斜指症の 1 例

松村 憲晃(医真会八尾総合病院 整形外科), 面川 庄平, 金子 康司, 大川 隆太郎,

整形外科 (0030-5901)56 巻 1 号 Page53-56(2005.01)

3. 手指の関節内および関節周囲骨折に対するプレート固定法の治療経験

松村 憲晃(医真会八尾総合病院 整形外科), 面川 庄平, 金子 康司, 野々下 博, 仲川 豪一

骨折 (0287-2285)27 巻 1 号 Page399-402(2005.05)

4. 上腕骨近位端骨折に対する locking humerus spoon plate の使用経験(原著論文)

内原 好信(大淀町立大淀病院 整形外科), 松村 憲晃, 和田 義己

中部日本整形外科災害外科学会雑誌 (0008-9443)49 巻 2 号 Page337-338(2006.03)

5. 大腿骨頸部内側骨折に対する Hansson ピン固定術後に生じた大腿骨頭壊

死

仲川 豪一(医真会八尾総合病院 整形外科), 面川 庄平, 高岡 孝典, 金子
康司, 大川 隆太郎, 松村 憲晃, 野々下 博

整形外科 (0030-5901)58 巻 1 号 Page17-21(2007.01)

6. 上腕骨遠位骨幹部骨折に伴った橈骨神経断裂に神経縫合術を施行した 1
例

衣川 和良(大淀町立大淀病院 整形外科), 松村 憲晃, 仲西 康顕

中部日本整形外科災害外科学会雑誌 (0008-9443)53 巻 5 号 Page1141-
1142(2010.09)

7. 大腿骨転子間骨折術後に仮性動脈瘤を生じた 1 例

衣川 和良(大阪府済生会富田林病院 整形外科), 松村 憲晃, 仲西 康顕

中部日本整形外科災害外科学会雑誌 (0008-9443)54 巻 2 号 Page315-
316(2011.03)

8. 頸部神経根性疼痛に対して超音波ガイド下神経根ブロックを施行した 4
例

松井 智裕(阪奈中央病院 整形外科), 仲西 康顕, 松村 憲晃, 島岡 宏行,
梶田 義英, 田中 康仁

整形外科 (0030-5901)65 巻 2 号 Page121-123(2014.02)

9. 胸椎偽腫瘍により下半身麻痺をきたした 1 例(原著論文/症例報告)

島岡 宏行(大淀町立大淀病院 整形外科), 松井 智裕, 松村 憲晃, 梶田 義
英

以上、主論文に報告された研究成績は、参考論文とともに運動器再建医学の進歩に寄与するところが大きいと認める。

令和3年6月8日

学位審査委員長

侵襲制御・生体管理医学

教授 川口 昌彦

学位審査委員

運動器再建医学

教授 朴木 寛弥

学位審査委員(指導教員)

運動器再建医学

教授 田中 康仁